

「三浦保」愛基金県直営事業・県特別枠事業(平成28年度当初予算)

県直営事業

【環境保全・自然保護分野】

(単位:千円)

◎ 環境学習機会拡充事業費 (県民環境部 環境政策課) 1,553

環境マイスター制度や民間団体の事例紹介を通じて、将来を担う子どもの環境学習の機会の拡充を図る。

- 1 子ども向け環境学習体験会
(1) 時期等 28年7～9月 東・中・南予各1日
(2) 対象 保育所・幼稚園・放課後児童クラブの関係者等
(3) 内容 模擬学習体験、事例紹介等
- 2 子どもと地域の環境セミナー
(1) 時期等 28年7～9月 東・中・南予各1日(1と同日開催)
(2) 対象 県民、事業者、環境活動団体、環境マイスター等
(3) 内容 講演、発表、自由交流会、パネル展示

【社会福祉分野】

◎ 障害者芸術活動支援事業費 (保健福祉部 障害福祉課) 1,559

障害者の芸術活動の活性化に向けて、障害者芸術関係者のネットワーク化や指導者の養成を行うとともに、優れた芸術作品や創作者を発掘するため、コンクールを開催する。

- 1 障害者芸術活動スキルアップ
 - (1) 障害者芸術の関係者による連絡協議会の開催
 - (2) 障害者芸術活動に関するセミナーの開催
- 2 障害者が制作した芸術作品のコンクール
 - (1) 対象 県内在住の障害者
 - (2) 募集作品 絵画・デザイン、書道、陶芸の3部門
 - (3) 表彰 14人(特選1人、優秀賞3人、佳作10人)
 - (4) 展示 28年12月 県美術館

◎ いじめSTOP愛顔の子ども育成事業費 (教育委員会 人権教育課) 9,000

児童生徒主体のいじめ根絶を目的としたフォーラムを開催するとともに、県立学校の生徒によるいじめ防止の主体的な取組みを企画・実践する。

- 1 いじめSTOP愛顔の子どもフォーラム
 - (1) 時期、場所 12月下旬、ひめぎんホール
 - (2) 参加者 県内の小・中・高校生(800人)、教職員・保護者・教育関係者(400人)
 - (3) 活動内容 実践報告、パネルディスカッション、いじめ防止啓発劇、人権啓発ソングの合唱
 - (4) 普及啓発 えひめ愛顔の子ども新聞の発行(15万部)
- 2 全国いじめ問題子供サミット
 - (1) 時期、場所 1月下旬、東京都
 - (2) 参加者 県代表児童生徒4人(小・中学生各2人)
- 3 県立学校生徒の主体的活動支援
 - (1) 実践校の選定 企画の公募、実践校の選定(6校を選定)
 - (2) 活動内容 いじめ防止啓発劇制作、いじめ防止ハンドブック作成、いじめ防止啓発番組制作、学校での取組推進モデルの実践

◎ 特別支援学校文化芸術支援事業費 (教育委員会 特別支援教育課) 1,025

特別支援学校においてプロの文化芸術団体による実演指導を通して、生徒の生きる力や社会に参加する心を育むとともに、共生社会の形成に向けた特別支援教育の理解啓発を図る。

- 1 対象校 みなら特別支援学校
- 2 内容
 - (1) ワークショップ 坊っちゃん劇場劇団員の派遣(3人、年18回)
 - (2) 成果発表 坊っちゃん劇場劇でのミュージカル上演

県特別枠事業

◎ 障害者スポーツ大会競技会等支援事業費(えひめ国体推進局 障害者スポーツ大会課) 15,992

障害者スポーツ大会で使用する競技用具やバリアフリー機器を購入する。

- 1 競技用具整備
 - (1) 正式競技の競技用具の購入(スラローム旗門、サウンドテーブルテニス用卓球台等)
 - (2) 普及・啓発用の練習球の購入(フットベースボール、グランドソフトボール等)
- 2 競技会場バリアフリー対策
観客用車いす、音声誘導装置、携帯用磁気ループ等のバリアフリー機器の購入

※県特別枠事業とは、基金が平成29年度に創設10周年を迎えることから実施する、例年の県直営事業より規模の大きな事業です。